



開発のきっかけに 常務理事時代の疑問が 複数のPCでの使い分け 手作業の財務資料作り、 自作業の財務資料作り、

健康保険組合の常務理事時代、私は常々、既存の基幹業務システムに違和感や疑問を抱いていました。

基幹業務システム端末は、事務局のメンバーにとっては日常業務の必須アイテムです。一方、常務理事の私は、デスクに設置された基幹業務システム端末の電源を、任期中にほとんど入れることがありませんでした。「なぜ、このような“無用の長物”が生まれてしまっているのか」と、もやもやしたものです。

こうした違和感や疑問は、従来の健康保険組合向け基幹業務システムが、常務理事の業務にほとんどフォーカスされていなかったことに起因していると考えられます。

例えば、予算編成や決算処理に向けて財務資料を作ろうとしても、すでにシステム内に格納されている過去の決算データや経理データを、わざわざ既存の帳票から数字を拾い、資料作成を行わなければなりません。

また、健康保険組合にとっての一大イベントである議員・役員選挙や、ガバナンス運営上で重要な点検・監査に関しても、基幹業務システムではカバーされておりませんでした。特に、数年ごとに実施しなければならない選挙では、健康保険組合内で引継ぎの仕組みやマニュアルが十分整備されていなかったこともあり、規約・規程の確認をしたり、法令根拠を理解したりしようとするだけでも、膨大な時間と労力が掛かったことを覚えています。

また、近年、データヘルス計画やマイナンバー制度といった新しい制度の開始に伴い、事務局内にPCの台数が増えていくことに対しても課題意識がありました。業務が非効率になりますし、情報セキュリティ上のリスクも見逃せません。例えば、厚生局や健保連などがWEB上に公開している書式を利用する際には、インターネットに接続できる情報系のPCから、USBメモリなどを介して、基幹業務システム端末へダウンロードしなければなりません。こうした煩雑でリスクの高い業務手順を避けられるはずで

私はUBSのユーザとして、当時の営業担当や経営幹部の方々

に、こうした率直な考えを直接お伝えしたこともありました。しかしながら、UBSにとっては常務理事の業務の課題を体系立てて整理し、具体的なソリューションを見出すのは容易ではなかったのかもしれない。

私はかねてより、退任後のセカンドキャリアを向えるにあたって、「これまでの経験や知見がお役に立てる仕事ができたらいいな」と思っておりまして。そうした中、退任を機にUBSからお声をかけていただき、常務理事・事務長向け管理システムを企画するに至りました。

健康保険組合を取り巻く環境が激変する中、常務理事の“健保経営”をサポートしたい

このたび、常務理事・事務長向け管理システムを企画した背景には、近年、常務理事の業務の在り方が急激に変化している状況があります。

ひと昔前までの常務理事の諸先輩方に求められていたのは“健保運営”。保険料の徴収や保険給付など、本来の健康保険業務が法令や規約・規程どおりに遂行できるよう管理できていれば、常務理事の業務は必要十分という側面もあったでしょう。

しかし、昨今では健康保険組合を取り巻く環境が激変しています。高齢化に伴う納付金の負担増などにより財政状況は厳しさを増し、ICTの進展に付随してセキュリティリスクも増大しています。さらに、マイナンバー制度やデータヘルス計画など、新たに対応しなければならない制度や課題も次々に増えている状況です。

こうした中で、常務理事の責務や領域は広がり続けています。今、常務理事に求められているのは、環境変化にいち早く呼応し、先手で対策を講じる、いわゆる“健保経営”ではないでしょうか。そして、この“健保経営”を支援するシステムの構築が急務であると、私は考えています。

ガバナンス・経営分析・情報検索の機能を搭載！ 基幹システムのワンストップ化も推進

KW21-MSSは、そうした常務理事の健保経営をサポートし、さらに基幹業務システムのワンストップ化を実現するシステムとして開発いたしました。

搭載機能は【ガバナンス機能】【経営分析機能】【情報検索機能】の3種類。

【ガバナンス機能】では、各種の認可申請書や規約・規程例、庶務関係の書式や帳票を、200種以上をテンプレート化して格納する予定です。さらに、議員役員選挙の「スケジュール表」「選挙関連帳票」などを簡単に作成できる「選挙コンテンツ(資料1)」や、ガイダンス機能が付いた「自己点検シート」「監査報告(通知)書」など、業務経験の浅い方でもスムーズに業務を遂行できるようなコンテンツを搭載いたします。

【経営分析機能】は、過去の決算データや経理データを自動的に集計する機能です。多くの健康保険組合で独自に作成されている月次の収支実績表や決算結果の年度推移表を始め、財政運営にご活用いただけるさまざまな帳票を自動作成する「財政シミュレーション機能」などのご提供を予定しております。

【情報検索機能】は、インターネット接続の情報系PCを利用することなく、基幹業務システム端末から直接「健康保険法」などの法令条文が確認できるようになる機能です。

これらの機能をご活用いただくことで、「ガバナンス体制の整備と強化」「健全な財政運営」「労務管理・人材育成」という常務理事の3つの責務を果たせるようなシステムとなっています。

ユーザ様と作り上げてきた KW21-MSSを「常務理事が朝一番に 立ち上げるシステム」に

このKW21-MSSは、UBSがユーザ様と共に作り上げてきたものだと私は考えております。

元常務理事とはいえ、私の知見も一個人の経験でしかありません。「総合健保でも単一健保でも同じように問題なく使えるか」「健康保険組合の規模の大小や、母体企業の業界の違いによって、使い勝手に差が出てしまわないか」など、私だけでは到底把握しきれないことも数多くあります。そこで、製品の企画プロセスでは、今まさに実務に携わる常務理事や事務長の皆さまのご意見を、広く伺ってまいりました。全ユーザ様を対象に実施したアンケートのほか、各種セミナーや勉強会でのディスカッション、試作段階で実際に操作いただいたのアドバイスなど、すべてが製品開発の糧となっています。

今後も、この姿勢は貫いてまいります。

製品はリリース後も絶えず進化させてまいります。時代の変化とともに、健康保険組合の業務や常務理事の使命も変わり続けていく中で、常務理事の皆さまに常に求められる製品であるよう、機能・コンテンツを追加していく予定です。

常務理事の皆さまが、「毎朝、出勤して一番に立ち上げるシステム」になること。それが、KW21-MSSの目指す姿です。

▼資料1: 選挙スケジュール表作成機能





Profile

福島 健一

Kenichi Fukushima

元三菱UFJニコス健康保険組合 常務理事
ユニバーサル・ビジネス・ソリューションズ株式会社
経営企画本部 プロダクト サービスアドバイザー

1978年、日本信販株式会社(現 三菱UFJニコス株式会社)入社。企画部門での業務経験が長く、クレジットカード黎明期のサービス・機能開発に携わる。同社執行役員を経て、2010年に三菱UFJニコス健康保険組合へ常務理事として出向。2017年6月に任期満了で退任し、同年10月より現職。趣味はマラソン、ゴルフ